

第3位校：青森山田高等学校 平成20年3月14日視察

チーム員 上原子早紀（3年）

東京コレクション視察感想

初めてプロのデザイナーのファッションショーを見て大変感激しました。コシノジュンコさんは、金と黒を基調とし、とてもゴージャスでアダルトで存在感のあるデザインでした。THEATRE PRODUCTSさんのショーは、ファッション雑誌の撮影も兼ねた感じで、モデル達は、カメラに向かい飛び跳ねたり、果物や靴を持ってポーズを取ったりしていました。傍らでは男性モデル達が観客にフルーツを配るなど斬新な演出で場を和ませていました。鳥居ユキさんのショーは、規模が大きく700人くらいの観客が所狭しと集まり、私たちでも名前のわかる芸能関係の人が少なくても20～30人くらい家族づれで来て楽しんでおり、ファンの年齢層の広さと、鳥居さんのデザインや人間のスケールの大きさを感じました。それぞれタイプの違う3つのショーを見ることができ、とても光栄であり勉強になりました。服のデザインも人それぞれでしたが演出も様々で「見せる」事の重要性を知ることができました。このような機会に恵まれることができ感謝しています。ありがとうございました。

第7回大会を振り返って

私はチームリーダーとして大会に臨みました。活動をするにあたり、部活や授業・試験などですれ違いがあり悩んだ時期もありましたが、周りの人のバックアップもあり、お互い助け合いながら頑張りました。その結果、3位に入賞することができ、ご指導してくれた先生方やアシスタントのみんな、そして一緒についてきてくれたメンバーの2人に感謝の気持ちでいっぱいです。

チーム員 上田亜紀子（1年）

東京コレクション視察感想

今回のコレクションを見学できたことは、とても刺激的であり自分にとって色々な面でプラスになりました。初めてみる本格的なプロのファッションショーが超一流の方々だったので、非常に嬉しく私の中の世界観が一気に広がりました。このような素晴らしい体験ができたのも、ファッション甲子園の本大会で3位に入賞できたこと、そしてそれを全面的にバックアップしてくれた学校と周りの人たちのお陰だと心から感謝しています。東京コレクションでは、ポップで、斬新で、優雅で、華やかで、奇抜なアイデアの作品を見ることができました。今回の経験を生かし、プロの感性をヒントに今年のファッション甲子園でも、上位入賞を目指してまた頑張りたいと思います。

第7回大会を振り返って

全国から高校生が集まって、自分達のデザインした服を発表する場で、たくさんの個性的なデザインをみることができました。私には考え付かないアイデアがたくさんあって、やっぱり全国にはいろんな人がいるなあ。ということに改めて感じました。そのような場に

今年も関わっていきたいと思うので、そのためにもまた、頑張ります。

チーム員 今智夏（1年）

東京コレクション視察感想

今回3つのショーを見て感じたことは、世の中にはまだまだたくさんのアイデアが限りなくあるのだなあと改めて実感できました。コシノさんの作品は、黒が基調で金色とファーのみを使用していましたが、単調になることもなくどれも素晴らしく高級感や気品がただよっていました。TEATRE PRODUCTSさんの作品は、服に若さを象徴するビタミンカラーが、鮮やかにそしてエネルギッシュに用いられていました。鳥居さんの作品は、10代の若者から熟年の方々まで幅広い層の女性を考えてデザインされており、色合いも様々で個性あふれていました。

第7回大会を振り返って

私はモデルとして服をより良く見えるよう、いろいろな動きを練習し表現できるよう頑張りました。ファッション甲子園で入賞し、今回の様なチャンスに恵まれ驚きの連続でした。これからも頑張った先には喜びがあると信じて、人生を送っていきたいと思います。